

創造力・企画力向上研修

【合同研修】

情報収集・アイデア発散～具体化のプロセスを体験し、企画提案につなげる！

目的	多様な視点からアイデアを案出する技法を学ぶとともに、前例にとらわれない斬新な施策を企画・策定する能力の向上を図る。					
内容	(1) 前例にとらわれず多様な視点からアイデアを生み出す創造的思考の概念を共有し、「幅広い視点」・「知識の量」・「考える力」の3つに焦点を絞り、身につけるべきことを理解する。 (2) アイデア発想のプロセスを共有し、様々な組合せの視点を活用して創造的な発想を行うトレーニングを行う (3) 演習などを通じてアイデアを具現化して企画書としてまとめる方法を学ぶ。					
実施年月日	第1組：令和2年 7月 9日(木)～10日(金) 第2組：令和3年 1月 7日(木)～ 8日(金)	定員	各組 36名(市町村職員10名 県職員26名)			
対象者	(市町村) 採用2年目～係長級未満の職員 (県) 中堅キャリアアップ研修対象者で、受講を希望する職員					
実施場所	大分県自治人材育成センター					
推薦期限	第1組：令和2年 5月29日(金) 第2組：令和2年11月30日(月)	《第6回》 《第15回》	推薦書	推薦書 3	経費内訳	内訳表 2
指定ホテル	コモドホテル OITA		その他留意事項	ランチ交流会 実施		
研修講師 (プロフィール)	【一般社団法人 日本経営協会 協力講師 佐々木 茂(ささき しげる)氏】 1960年生まれ 上智大学文学部社会学科卒業 大学卒業後、福武書店(現在のベネッセコーポレーション)入社、編集長等歴任。その後、家業の経営を経て、 1998年 独立 有限会社ジャンクション設立 2013年 株式会社に改組。 現在に至る。 中小企業施策・マーケティングに関わる自治体・公的機関アドバイザー等を多数歴任 (独立行政法人 中小企業基盤整備機構 チーフアドバイザー)					
受講者の声	アイデア出し等、事業立案をする際に役立つ手法(MECE等)を学べた。 アイデアがパッと湧くわけではなく、良いアイデアを出すためには絶えず情報収集することが大切だとわかった。 データを分析する際に、つねに「なぜ」の視点と「多分こうではないか」と仮説をもつ視点が大切であることを学んだ。 データ等の情報の集め方から、図を活用した原因分析を通じて、解決策(政策課題)が見えてくることを再認識できた。					
備考						

時間割

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
		8:30	10							45	
1日目	受付	オリエンテーション	アイスブレイク、自己紹介 1. 問題を認識する		昼食 (ランチ交流会)	2. 情報探索と情報収集 3. 情報の整理からコンセプトへ					
2日目	受付	4. アイデアを出す 5. 具体化する		昼食	6. 目標を設定する 7. 総合演習 ふりかえり				アンケート・閉講		
		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	30 45 17:00

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。